

平成26年度 佐久市部落差別撤廃人権擁護審議会
議事録（要旨）

日 時 平成26年5月8日

13:30～14:55

場 所 佐久市役所 8階大会議室

佐久市部落差別撤廃人権擁護審議会委員 20名（全員）出席

委嘱書交付

- 1 開 会 進行：人権同和課長
- 2 自己紹介
- 3 あいさつ
- 4 会議事項 議長（佐藤会長）
 - (1) 『佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画』について
 - ア 平成25年度事業実施報告について
(事務局より説明)
 - イ 平成26年度事業計画について
(事務局より説明)
 - (2) その他
平成26年度佐久市新任・転入教職員人権同和研修会について
(事務局より説明)
- 7 閉 会

【質疑、意見】

- (1) 『佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画』について
 - ア 平成25年度事業実施報告について

(山浦委員) それぞれ各研修会等を開催されているわけですが、何人が対象でそのうち何人が出席したかを記載してほしい。

それから、これらの報告は全て人権同和課だけでいいのか。この審議会の委員さんは各団体の代表ですから、委員さんからの報告や、市役所の各課からの報告はどのようになっているのかということをお聞きしたい。

また、佐久市には人権啓発推進本部があるが、その推進本部の方に、これら

が全て報告された上で今日の審議会の方に報告されているのか、その点についてもお聞きしたい。

(本田課長) まず1点目については、25年度の中では把握出来ておりません。申し訳ございません。

次に2点目の各種団体等における報告や課題等の部分につきましては、把握できていないという状況でございます。

3点目の昨年度の啓発推進本部にこの報告を出されているかという質問ですが、25年度の推進本部の開催はしておりません。開催しておりませんので、その推進本部への報告もしてないということでございます。

(比田井部長) 補足させていただきます。本日、実施報告させていただくにあたりましては、人権同和課だけではなく、項目ごとに他の部署あるいは教育委員会等の係や課に、この資料の実績、評価、今後の課題等を書いていただき、それを私たちの方で代答させていただいています。

推進本部につきましては、今年までに推進本部を開催した経過がないということですが、28年度までの期限までに総合計画の評価や見直しをし、次の計画に向けての準備を進めるために、推進本部会議と幹事会を定期的に活用し、色々な案件を視野に入れながら、再度進めていきたいと考えております。

(山浦委員) 各研修会の対象者がわかるころがありましたら、26年度の事業実績のときは、その報告をしていただきたいと思います。

それから、せっかく推進本部という体制があるのですから、その中で情報提供をし、お互い共有できる部分は共有しといていただいた方がいいかなと感じておりますので、よろしくをお願いします。

(荻原委員) 隣保館事業の中で、「1人世帯の家族を巡回訪問」とあるのですが、これは民生委員でも取り組んでいるので、お互いに情報交換や連携が取れないかどうかをお尋ねしたい。

(伊藤係長) 望月や浅科の隣保館は地区の中にありますが、中央隣保館は地区から少し離れておりますので、把握することが大変な部分があります。民生委員さんとお互いに連携が出来ればとてもいいと思うので、福祉課と相談をしていきたいとは考えております。

(山崎委員) 結果のみでなく問題点や課題も報告していただきたい。それらを審議するのも審議会の役割かと思えます。

もうひとつは、4月1日から本人通知制度、本人告知制度がスタートしたことを報告してもらいたい。その上で、制度の中身や今後の取り組みについて議論することが大切かと思えますが、今日の段階では出来ていない。

(本田課長) 本人通知制度、告知制度につきましては、広報等で周知を図っています。今回は資料を準備していないので、制度に関する資料を用意し、後日お配りしたいと思えます。

制度について簡単に申し上げます。まず本人通知制度につきましては、住民票等が委任状を持った代理人によって取得された場合、交付されたことを本人に通知する制度でございます。また本人告知制度ですが、これは司法書士等が、指定の請求用紙により取得し、それが不正だと判明した場合には、不正取得されたということを本人に教えてあげる制度でございます。4月25日現在では、通知120件、告知0件でございます。この制度が始まったことで、本人の安全が図れるということと、第三者等による不正の抑止が図れるといった利点がございます。

(山浦委員) この制度ができた背景も報告してほしかったのですが、私の方で参考にお話し致します。3、4年くらい前に、司法書士や弁護士等が集まったプライムという東京の会社が、全国で戸籍謄本を不正取得していたという事件がありました。部落解放同盟としては、戸籍謄本の不正取得が身元調査につながるという背景があります。また、住民票を取ることによってストーカー事件に発展したことや、殺人事件に発展した背景もあるわけです。また、佐久市の制度は、申請しなくても全市民が対象ということで他市より画期的です。

イ 平成26年度事業計画について

(山崎委員) 子供の人権に関する事業計画について、実施報告と全く同じ内容で「関係機関団体代表に委嘱して協議会を設置します」とあるが、その設置した後のことを、事業計画に書いておくべきだと思います。

それから、スマイルライフフェスタとふれあい広場が一緒になるとあるが、発展しているのか衰退しているのかわからないです。

私はある女性から、「セクハラを受けたのですが、どこに相談したらいいですか」といった相談を受けました。去年、人権同和課の課長さんや法務局の

人権擁護委員さんに相談したが、具体的解決には至らず、たらい回しみたいにされた経験があります。どこの窓口へ行けば相談や対応ができるかということがわかりません。

また、浦和レッズの「ジャパニーズオンリー」や欧州のサッカーの試合でバナナを投げ入れられた事件で、人種問題、人権問題というのが大きな話題となっている。こういうタイムリーな問題を取り上げ、審議会委員の中でもお互い議論した方がいいのではないかと思います。

(本田課長) 審議会委員の皆さんで色々議論する場をとということですが、またご協議させていただきながらご検討をよろしくお願いします。

(佐藤会長) 審議会委員の間で審議するというのは、難しい点もあるかと思いますが、教育委員会とかではどんなような感じか、もし少しわかれば説明をお願いします。

(山崎委員) 学校の方で、いじめ対策協議会というのを設置されたとありましたが、どのような構成なのか、お答えしていただければ。

(依田委員) 校内に委員会があります。その校内の委員会は、佐久市のそれぞれが集まって教育委員会も含めて相談をしたりいじめ問題の検討をしたりしております。

(山浦委員) 26年度の新任・転入教職員人権同和研修会があるわけですが、新任・転入職員が全体で何人いるのか、その全員が研修を受けているのかというところが見えない。研修を受けないで済んでしまうということがないような研修会にいただければと思います。

(山崎委員) 佐藤会長さんはスマイラルフェスタとふれあい広場の会場が一つになったことはご存じなのでしょうか。

(佐藤会長) 障がい者の方が若い人とスポーツ交流をやっています。かなり盛んでして、去年は駒場で車イスの方やダウン症の方ともスポーツ交流しています。私は、ふれあい広場で、語らいをするよりもスポーツ交流の方が画期的かなという感じがいたします。この5月にも盛大にやりますので、よろしければお越しください。